

字のない葉書

むこうだ
くにこ
向田邦子

P.74~78



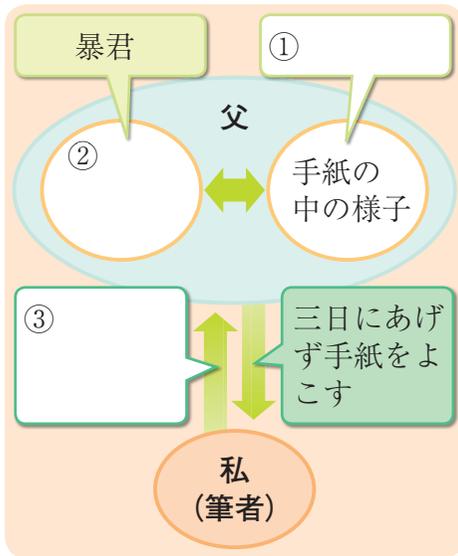
●人物の描写に気をつけて読み、それぞれの行動から読み取れる気持ちや、人物像を捉える。

読解

ステップ1 内容を整理しよう

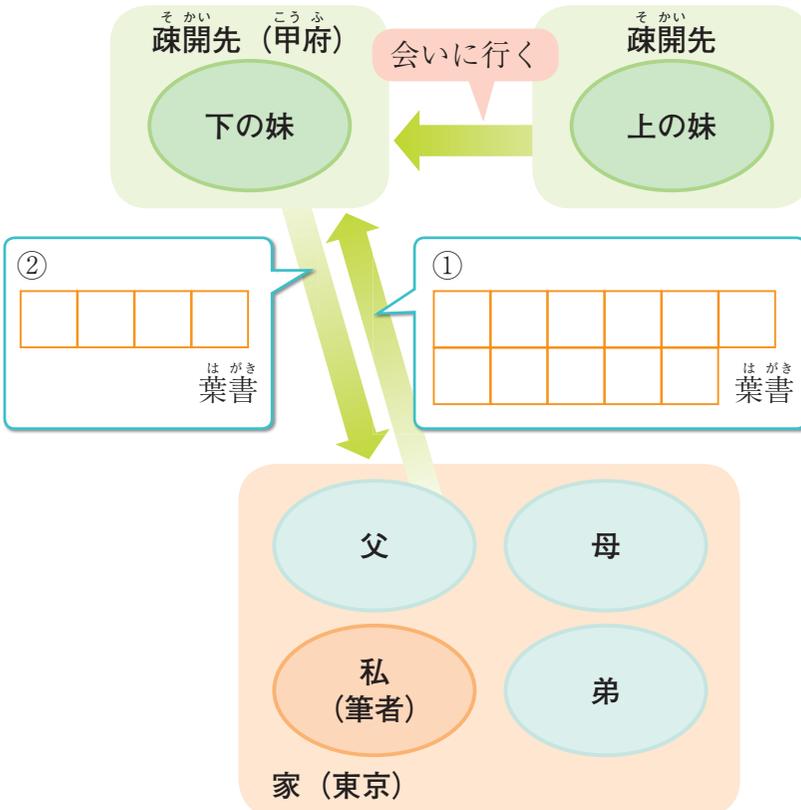
読み方を学ぼう② 「人物相関図」(教64ページ)を応用してみよう!

1 この文章の前半部分(教75ページ13行めまで)の人物相関図の①~③にあてはまることばを、あとのから選ぼう。



- ア 日頃の様子
イ 威厳と愛情にあふれた姿
ウ 優しい父の姿を見出した
おどろき

2 この文章の後半部分(教75ページ14行めから)の人物相関図の①・②にあてはまることばを教科書から抜き出そう。



【後半】字のない葉書(教75ページ14行め〜77ページ終わり)

1 「おびただしい葉書にきちょうめんな筆で自分宛ての宛名を書いた」(教75ページ19行め〜76ページ1行め)とありますが、父がこうしたのは何のためですか。□□の字数であてはまることを教科書から抜き出そう。

妹は①

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ので、疎開

先で妹が②

--	--	--

にしているかどうかを家族に知らせるための、

③

--	--	--

を書いて

--	--	--	--	--

④

に入れるだけで届く葉書を作るため。

2 「情けない黒鉛筆の小マルはついにバツに変わった。」(教76ページ17・18行め)から、妹のどんな気持ちの変化が読み取れますか。適切なものを次の中から選ぼう。

- ア 疎開生活が終わることへの不満が次第に高まっている。
- イ 疎開生活での不安や寂しさがどんどん強くなっていく。
- ウ 家族に会いたいという気持ちが次第に弱まっている。
- エ 父や母に対する不満や反発が少しずつ強くなっている。

3 「私」と弟が家庭菜園のかぼちゃを全部収穫したとき、「小さいのに手をつけると叱る父も、この日は何も言わなかった」(教77ページ4・5行め)のは、なぜですか。

読み取りのヒント

【後半】
1 父が妹に言ってきかせた「元気な日はマルを書いて、毎日一枚ずつポストに入れなさい。」ということばから考えよう。

2 葉書に書いてあるマルは、妹が元気だということを意味しているよ。マルが小さくなり、ついにバツに変わったということは、妹がすっかり元気をなくしてしまったということになるね。

3 「これくらいしか妹を喜ばせる方法がなかったのだ。」から、「私」と弟が妹を喜ばせるためにかぼちゃを全部収穫したことがわかるね。

父が何も言わなかったのは、「私」と弟の気持ちを理解していたからだよ。



